

官報

号外 昭和二十四年二月十一日

第五回参議院會議錄第一号

昭和二十四年二月十一日(金曜日)午前
十時六分開議

議事日程 第一号

昭和二十四年二月十一日
午前十時開議

第一 会期の件

第二 内閣総理大臣の指名
○議長(松平恒雄君) 第四回國會閉会後における諸般の報告は朗読を省略いたします。

第四回國會閉会後の事項報告

去る一月十一日議長は、左の実地調査のための議員派遣要求を許可した。

- 一、派遣の目的 檢察及び裁判の運営等に関する調査(日野原節三及び小林孝子の証言を求める爲)

特殊物件楽器類処理状況

地方 地名	旧 所 属	品 目	数量	拂 下 先	拂 下 日 下 備 考
北海道	札幌陸軍糧秣支隊	オルガン	一	札幌郡白石村	三、七、三
	第四海軍航空支隊	ドラム	一	千歳郡千歳村千歳小学校	三、九、
		トランペット	一		
		クラリオネット	一		
		喇叭	一		
千葉	横須賀防備隊	ピアノ	一	安房郡金谷小学校	三、八、三 放出物件
	流山補給廠	オルガン	一	東京 鉄道局	三、三、二

官報号外 昭和二十四年二月十一日 参議院會議錄第一号 議長の報告

一、派遣議員 伊藤修、大野幸一、齋武雄、遠山内市、岡部常、松井道夫、松村眞一郎、來馬琢道、星野芳樹

- 一、派遣期間 一月十二日
- 一、派遣地 東京都内
- 一、費用 一〇、八〇〇円

議員派遣旅費(一名一日 一、二〇〇円 九名分)

右参議院規則第八十條により要求する。
昭和二十四年一月十一日
法務委員長 伊藤 修
参議院議長松平恒雄殿

去る一月二十七日議長は、左の実地調査のための議員派遣要求を許可した。
議員派遣要求書
一、派遣の目的 檢察及び裁判の運営等に関する調査

等に関する調査(山上輝彦君の証言を求めるため)

- 一、派遣議員 伊藤修 大野幸一
- 一、派遣期間 一月二十八日
- 一、派遣地 埼玉県
- 一、費用 二、四〇〇円

議員派遣旅費(一名一日 一、二〇〇円 二名分)

右参議院規則第八十條により要求する。
昭和二十四年一月二十七日
法務委員長 伊藤 修
参議院議長松平恒雄殿

去る一月三十一日議長は、左の実地調査のための議員派遣要求を許可した。
議員派遣要求書
一、派遣の目的 檢察及び裁判の運営等に関する調査

一、派遣議員 伊藤修 齋武雄 鈴木安孝 深川タマエ 岡部常

- 一、派遣期間 二月四日から同月十日迄七日間
- 一、派遣地 福島縣
- 一、費用 四二、〇〇〇円

議員派遣旅費(一名一日 一、二〇〇円 五名七分)

右参議院規則第八十條により要求する。
昭和二十四年一月二十九日
法務委員長 伊藤 修
参議院議長松平恒雄殿

昨日内閣から左の通知書を受領した。
本日内閣総理大臣から左の通知書を受領した。
内閣は、日本國憲法第七十條により、本日辭職をすることに決定いたしましたから、國會法第六十四條によつて、この旨通知いたします。

内閣参事第二号
昭和二十四年二月十日
内閣総理大臣 吉田 茂
参議院議長松平恒雄殿

貴院議員中野重治君提出の旧陸海軍所有の樂器処置に関する質問に対し、昭和二十三年十二月十四日附参事第二〇一号をもつて一應答弁書を送付したが、その後の調査の結果を別紙のとおり送付する。

参議院議員中野重治君提出の旧陸海軍所有の樂器処置に関する質問に対する答弁書
この種の物件は特殊物件処理の基本方針として、地方処理物件となつていたので、内務省(現在建設省)はこれらの処分を各都道府縣知事に委任したのである。知事は樂器の種類、態様の多様にして、且急速に処理を必要としたので、地方の実情に應じ、処分の適正を期するため各都道府縣に設けられた特殊物件処理委員会に附議し、具体的処分を決定した。その処理状況は別紙のとおりである。

東京 陸軍病院	東京 海軍軍樂隊	東京 陸軍病院	東京 市民生局	東京 吹奏樂團
Bb コルネット	ニ	国立千葉病院	ニ	
ユーフォニアム	ニ		ニ	
バス	一		ニ	
Eb バス	一		ニ	
Bb バス	一		ニ	
小太鼓	一		ニ	
大太鼓	一		ニ	
機鼓(チユバニ)	一		ニ	
大太鼓	一		ニ	
機鼓(チユバニ)	一		ニ	

昭和二十五年三月三十一日
第三號 樂器類處理

横須賀海兵團軍樂隊	樂譜台	〇	〇
ビツコロ	大ピアノ	二〇	〇
〇イポー	小ピアノ(山葉)	一	〇
Aクラリネット	管絃樂譜	〇	〇
Bbクラリネット		〇	〇
Bbホルネット		〇	〇
EbFアルトホン		〇	〇
Bbテノルホン		〇	〇
テノルトロンボン		〇	〇
テノルスライトロンボン		〇	〇
Gバストロンボン		〇	〇
バズーン		〇	〇
トライアングル		〇	〇
ホイッパ		〇	〇
スライドホイッパ		〇	〇
スレーベル		〇	〇
カウベル		〇	〇
ラットル		〇	〇
ウッドブロック		〇	〇
タムタム		〇	〇
チャイナドラム		〇	〇
カスターネット		〇	〇
シンボルス		〇	〇
特下ロンベツト		〇	〇
特フレンチホルン		〇	〇
特フリュート		〇	〇

陸軍戸山学校軍樂隊	香又	一	〇
(禁衛府)	大太鼓	四	〇
	小太鼓	一五	〇
	タムタム	三	〇
	教授用指揮棒	〇	〇
	行進扇	〇	〇
	アチソトフリュート	四	〇
	グラントフリュート	六	〇
	アチソトクラリネット	五	〇
	グラントクラリネット	三	〇
	オーボア	三	〇
	クラリネットバス	一	〇
	クラリネット(ラ)	三	〇
	バツソン	二	〇
	サクソホンアルト	四	〇
	テノル	四	〇
	バリトン	四	〇
	ビューグル	七	〇
	トロンベツト	五	〇
	ホルネアピストン	一四	〇
	コールアピストン	七	〇
	アルト	八	〇
	メロホーン	四	〇
	トロンボン	一五	〇
	バシストロンボン	二	〇
	バリトン	五	〇
	バリス	三	〇
	コントラルバリス	五	〇
	(三b)	五	〇
	(bb)	五	〇

日本放送協会 三、四、六

○議長(松平恒雄君) 本院規則第十四條により、諸君の議席は現在の仮議席の通り指定いたします。これにて本院は成立いたしました。

○議長(松平恒雄君) これより本日の會議を開きます。議事の都合により、これにて午後一時まで休憩いたします。

午前十時七分休憩

午後五時一分開議

○議長(松平恒雄君) 休憩前に引続き、これより會議を開きます。

日程第一、會期の件、本院規則第十二條によりまして、議長は衆議院長と協議いたしました。議長が協定いたしました通り、會期を七十日間とするに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(松平恒雄君) 御異議ないと認めます。よつて會期は七十日間と決定いたしました。

○議長(松平恒雄君) 日程第二、内閣總理大臣の指名を議題といたします。

これより内閣總理大臣に指名される者を定めるため、記名投票を行います。記名投票は、お手許に配付してあります。赤色の投票用紙に、國會議員のうち一人を御記入の上、白色の木札の名刺と共に御持参を願います。これより点呼を行います。

〔投票箱開議〕

○議長(松平恒雄君) 投票箱は、ごさいせんか……投票箱にはないと認めます。投票箱を開議いたします。

〔投票箱開議〕

○議長(松平恒雄君) これより開票いたします。投票の点検をいたさせます。

〔参事投票及び名刺を計算、投票を点検〕

○議長(松平恒雄君) 投票の結果を報告いたします。投票総数二百十九票、名刺の数もこれと符合いたしております。投票の過半数は百十票でございます。

吉田 茂君 百六十七票

〔拍手〕

淺沼稻次郎君 二十八票

松岡 駒吉君 二十三票

小川 友三君 一票

只今御報告をいたしましたところに、よりまして、吉田茂君が内閣總理大臣に指名されることに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(松平恒雄君) 御異議ないと認めます。よつて本院は吉田茂君を内閣總理大臣に指名することに決しました。

〔拍手〕

〔参照〕

吉田茂君に投票した者の氏名

- 西田 天香君 阿竹齋次郎君
- 市來 乙彦君 井上なつあ君
- 岩本 月洲君 宇都宮 登君
- 梅原 眞隆君 江熊 哲翁君
- 小野 哲君 加賀 操君
- 柏木 康治君 鎌田 逸郎君
- 河井 鞠八君 來馬 琢道君
- 河野 正夫君 小杉 イ子君
- 小宮山常吉君 小林米三郎君
- 西郷吉之助君 佐伯卯四郎君

- 佐藤 尙武君 新谷寅三郎君
- 鈴木 直人君 竹下 豊次君
- 高瀬莊太郎君 高田 寛君
- 高橋龍太郎君 伊達源一郎君
- 田中耕太郎君 中川 以良君
- 野田 俊作君 早川 愷一君
- 東浦 庄治君 久松 定武君
- 姫井 伊介君 藤井 丙午君
- 堀越 儀郎君 町村 敬貴君
- 松井 道夫君 松村眞一郎君
- 三島 通陽君 宮城タマヨ君
- 村上 義一君 矢野 西雄君
- 山崎 恒君 赤木 正雄君
- 赤澤 與仁君 安部 定君
- 飯田精太郎君 伊藤 保平君
- 奥むめお君 岡部 常君
- 岡本 愛祐君 岡元 義人君
- 木下 辰雄君 九鬼紋十郎君
- 楠見 義男君 大屋 晋三君
- 山田 佐一君 中山 壽彦君
- 島津 忠彦君 島村 軍次君
- 下條 康廣君 宿谷 榮一君
- 大野木秀次郎君 遠山 丙市君
- 森田 豊壽君 小林 英三君
- 田村 文吉君 王臨吉之丞君
- 寺尾 博君 徳川 宗敬君
- 玉屋 喜章君 松嶋 喜作君
- 徳川 頼貞君 一松 政二君
- 藤野 繁雄君 帆足 計君
- 穂積眞太郎君 田口政五郎君
- 岡田喜久治君 小野 光洋君
- 團 伊能君 山本 勇造君
- 結城 安次君 和田 博雄君
- 渡邊 甚吉君 北村 一男君
- 加藤常太郎君 西川 昌夫君
- 川村 松助君 淺岡 信夫君
- 池田宇右衛門君 堀 末治君

- 荒井 八郎君 西川甚五郎君
- 大島 定吉君 鈴木 安孝君
- 黒田 英雄君 寺尾 豊君
- 草葉 隆園君 石坂 豊一君
- 柴田 政次君 小杉 繁安君
- 板谷 順助君 今泉 政喜君
- 松野 喜内君 黒川 武雄君
- 高良 とみ君 紅露 みつ君
- 深川タメエ君 木内キヤウ君
- 大隅 憲二君 深水 六郎君
- 平岡 市三君 城 義臣君
- 藤森 眞治君 星 一君
- 中川 幸平君 重宗 雄三君
- 西山 龜七君 橋本萬右衛門君
- 伊東 隆治君 佐々木徳藏君
- 境野 清雄君 淺井 一郎君
- 廣瀬與兵衛君 左藤 義詮君
- 小串 清一君 水久保善作君
- 平沼彌太郎君 尾形六郎兵衛君
- 木樽三四郎君 木内 四郎君
- 鬼丸 義齋君 櫻内 辰郎君
- 田中 信儀君 谷口彌三郎君
- 植竹 春彦君 油井賢太郎君
- 石川 津吉君 石川 一衛君
- 小畑 哲夫君 前之園喜一郎君
- 竹中 七郎君 入交 太藏君
- 安達 良助君 高橋 啓君
- 小林 勝馬君 田方 進君
- 大隈 信幸君 門屋 盛一君
- 平野善治郎君 鈴木 順一君
- 奥 圭一郎君 池田七郎兵衛君
- 岩本 哲夫君 林屋龍次郎君
- 中井 光次君 稻垣平太郎君
- 三好 始君 米倉 龍也君
- 駒井 藤平君 小川 久義君
- 岩男 仁藏君 鈴木 憲一君
- 岡村文四郎君

淺沼稻次郎君に投票した者の氏名

- 内村 清次君 河崎 ナツ君
- カニエ邦彦君 板野 勝次君
- 細川 嘉六君 中野 電治君
- 中西 功君 岩間 正男君
- 太田 敏見君 鈴木 清一君
- 水橋 藤作君 千葉 進君
- 木村藤八郎君 堀 眞尋君
- 池田 恒雄君 星野 芳樹君
- 丹羽 五郎君 千田 正君
- 兼岩 傳一君 藤田 芳雄君
- 羽仁 五郎君 岡田 宗司君
- 若木 勝藏君 栗山 良夫君
- 川上 嘉君 羽生 三七君
- 田中 利勝君 佐々木良作君

松岡駒吉君に投票した者の氏名

- 中平常太郎君 下條 恭兵君
- 門田 定藏君 小泉 秀吉君
- 山下 義信君 大野 幸一君
- 原 虎一君 伊藤 修君
- 赤松 當子君 大島農夫雄君
- 鳥 清君 原口忠次郎君
- 中村 正雄君 塚本 重藏君
- 椎井 康雄君 齋 武雄君
- 村尾 重雄君 波多野 鼎君
- 吉川末次郎君 藤井 新一君
- 三木 治明君 森下 政一君
- 青山 正一君
- 小川友三君に投票した者の氏名
- 小川 友三君

〔矢野西雄君発言の許可を求む〕

○議長(松平恒雄君) 矢野西雄君。て、在外同胞引揚問題に關する特別委員會を設け、その委員数を二十名とするの動議を提出いたします。

○清岡信次君 只今の矢野西雄君の動議に賛成いたします。

○議長(松平恒雄君) 矢野議員の動議に御異議ございませんか。

○議長(松平恒雄君) 御異議ないと思えます。よつて在外同胞引揚問題に関する特別委員会を設置することに決しました。議長が選任いたしました特別委員の氏名を朗読いたします。

在外同胞引揚問題に関する特別委員
岩本 月洲君 岡元 義人君
北條 秀一君 穂積貞六郎君
矢野 西雄君 淺岡 信夫君
池田宇右衛門君 草葉 隆圓君
水久保甚作君 伊東 隆治君
小畑 哲夫君 木内キヤウ君
紅霧 みつ君 天田 勝正君
木下 源吾君 三木 治朗君
千田 正君 星野 芳樹君
鈴木 憲一君 細川 嘉六君

○議長(松平恒雄君) これにて本日の議事日程は終了いたしました。次会の議事日程は決定次第公報を以て御通知いたします。本日はこれにて散会いたします。

午後五時二十一分散会

○本日の会議に付した事件

- 一、議席の指定
- 一、日程第一、会期の件
- 一、日程第二、内閣総理大臣の指名
- 一、在外同胞引揚問題に関する特別委員会設置の件

出席者は左の通り。

- 議長 松平 恒雄君
副議長 松本治一郎君
宿谷 榮一君 大野木秀次郎君
遠山 丙市君 森田 豊壽君
小林 英三君 田村 文吉君
玉置吉之丞君 寺尾 博君
徳川 宗敏君 玉屋 喜章君
松嶋 喜作君 徳川 頼貞君
一松 政二君 藤野 繁雄君
帆足 計君 北條 秀一君
穂積貞六郎君 田口政五郎君
岡田喜久治君 小野 光洋君
園 伊能君 山本 勇造君
結城 安次君 和田 博雄君
渡邊 甚吉君 北村 一男君
加藤常太郎君 西川 昌夫君
川村 松助君 堀 末治君
池田宇右衛門君 西川甚五郎君
荒井 八郎君 鈴木 安孝君
大島 定吉君 草葉 隆圓君
黒田 英雄君 柴田 政次君
石坂 豊一君 板谷 順助君
小杉 繁安君 松野 喜内君
今泉 政喜君 高良 とみ君
黒川 武雄君 深川タマエ君
紅霧 みつ君 大隅 憲二君
木内キヤウ君 平岡 市三君
深水 六郎君 藤森 眞治君
城 義貞君 仲子 隆君
星 一君 中川 幸平君
中川 幸平君 重宗 雄三君
西山 龜七君 橋本萬右衛門君
伊東 隆治君 佐々木龍藏君
境野 清雄君 淺井 一郎君
廣瀬兵衛君 左藤 義詮君
小串 清一君 水久保甚作君
平沼彌太郎君 尾形六郎兵衛君
木槍三四郎君 木内 四郎君
鬼丸 義賢君 櫻内 辰郎君

- 田中 信儀君 谷口彌三郎君
植竹 春彦君 油井賢太郎君
石川 准吉君 石川 一衛君
小畑 哲夫君 前之園喜一郎君
竹中 七郎君 入交 太藏君
安達 良助君 高橋 啓君
小林 勝馬君 田方 進君
中平常太郎君 内村 清次君
大隈 信幸君 門屋 盛一君
平野善治郎君 鈴木 順一君
奥 圭一郎君 池田七郎兵衛君
岩本 哲夫君 下條 恭兵君
門田 定藏君 小泉 秀吉君
山下 義信君 林屋龜次郎君
中井 光次君 稻垣平太郎君
大野 幸一君 原 虎一君
伊藤 修君 赤松 常子君
河崎 ナツ君 島 清君
カニエ邦彦君 板野 勝次君
細川 嘉六君 中野 重治君
中西 功君 岩間 正男君
太田 敏兄君 鈴木 清一君
水橋 藤作君 千葉 信君
木村義八郎君 堀 眞琴君
原口忠次郎君 中村 正雄君
池田 恒雄君 星野 芳樹君
丹羽 五郎君 塚本 重藏君
椎井 康雄君 齋 武雄君
村尾 重雄君 千田 正君
兼岩 傳一君 藤田 芳雄君
羽仁 五郎君 山田 節男君
波多野 鼎君 岡田 宗司君
若木 勝藏君 栗山 良夫君
川上 嘉君 吉川末次郎君
藤井 新一君 羽生 三七君
田中 利勝君 米倉 龍也君
佐々木良作君 三木 治朗君

- 森下 政一君 青山 正一君
駒井 藤平君 小川 久義君
岩男 仁藏君 鈴木 憲一君
岡村文四郎君

指定された議席番号は左の通り。

- 一 濱田 寅藏君
二 西田 天香君
三 小川 友三君
四 平野 成子君
五 阿竹齋次郎君
六 市來 乙彦君
七 井上なつと君
八 岩本 月洲君
九 宇都宮 登君
一〇 梅原 眞隆君
一一 江藤 哲翁君
一二 小野 哲君
一三 加賀 操君
一四 柏木 庫治君
一五 鎌田 逸郎君
一六 河井 彌八君
一七 川上 嘉市君
一八 來馬 琢道君
一九 河野 正夫君
二〇 小杉 伊子君
二一 小宮山常吉君
二二 小林米三郎君
二三 西郷吉之助君
二四 佐伯卯四郎君
二五 佐藤 尙武君
二六 新谷寅三郎君
二七 鈴木 直人君
二八 竹下 豊次君
二九 高瀬莊太郎君
三〇 高田 寛君

三一	高橋龍太郎君	六九	島津 忠彦君	一〇七	淺岡 信夫君	一四五	左藤 義隆君	一八三	下條 滋兵衛君
三二	伊達源一郎君	七〇	島村 軍次君	一〇八	池田宝右衛門君	一四六	小串 清一君	一八四	門田 定藏君
三三	田中耕太郎君	七一	下條 康磨君	一〇九	堀 末治君	一四七	水久保甚作君	一八五	小泉 秀吉君
三四	中川 以良君	七二	宿谷 榮一君	一一〇	荒井 八郎君	一四八	平沼彌太郎君	一八六	山下 義信君
三五	野田 俊作君	七三	大野木秀次郎君	一一一	西川甚五郎君	一四九	尾形六郎兵衛君	一八七	林屋龜次郎君
三六	波多野林一君	七四	遠山 丙市君	一一二	大島 定吉君	一五〇	木槍三四郎君	一八八	中井 光次君
三七	早川 慎一君	七五	森田 豊壽君	一一三	鈴木 安孝君	一五一	木内 四郎君	一八九	稻垣平太郎君
三八	東浦 庄治君	七六	小林 英三君	一一四	黒田 英雄君	一五二	鬼丸 義齋君	一九〇	橋上 保君
三九	久松 定武君	七七	田村 文吉君	一一五	寺尾 豊君	一五三	櫻内 辰郎君	一九一	大野 幸一君
四〇	姫井 伊介君	七八	玉置吉之丞君	一一六	草葉 隆圓君	一五四	田中 信儀君	一九二	原 虎一君
四一	藤井 丙午君	七九	寺尾 博君	一一七	石坂 豊一君	一五五	谷口彌三郎君	一九三	伊藤 修君
四二	堀越 儀郎君	八〇	徳川 宗敬君	一一八	柴田 政次君	一五六	植竹 春彦君	一九四	赤松 常子君
四三	町村 敬貴君	八一	玉屋 喜肇君	一一九	小杉 繁安君	一五七	油井賢太郎君	一九五	
四四	松井 道夫君	八二	松嶋 喜作君	一二〇	板谷 順助君	一五八	石川 準吉君	一九六	
四五	松平 恒雄君	八三	徳川 頼貞君	一二一	今泉 政喜君	一五九	石川 一衛君	一九七	
四六	松村眞一郎君	八四	一松 政二君	一二二	松野 喜内君	一六〇	小畑 哲夫君	一九八	
四七	三島 通陽君	八五	藤野 繁雄君	一二三	黒川 武雄君	一六一	前之園喜一郎君	一九九	
四八	宮城タメヨ君	八六	帆足 計君	一二四	高良 とみ君	一六二	竹中 七郎君	二〇〇	大島農夫雄君
四九	村上 義一君	八七	北條 秀一君	一二五	紅露 みつ君	一六三	入交 太藏君	二〇一	岩崎正三郎君
五〇	矢野 西雄君	八八	穂積眞六郎君	一二六	深川タメエ君	一六四	安達 良助君	二〇二	河崎 ナツ君
五一	山崎 恒君	八九	田口政五郎君	一二七	木内ヤウウ君	一六五	高橋 啓君	二〇三	島 清君
五二	赤木 正雄君	九〇	岡田喜久治君	一二八	大隅 憲二君	一六六	小林 勝馬君	二〇四	カニエ邦彦君
五三	赤澤 與仁君	九一	小野 光洋君	一二九	深水 六郎君	一六七	田方 進君	二〇五	板野 勝次君
五四	安部 定君	九二	團 伊能君	一三〇	平岡 市三君	一六八	中平常太郎君	二〇六	細川 嘉六君
五五	飯田精太郎君	九三	山内 卓郎君	一三一	城 義臣君	一六九	松下松治郎君	二〇七	中野 重治君
五六	伊藤 保平君	九四	山本 勇造君	一三二	藤森 眞治君	一七〇	内村 清次君	二〇八	中西 功君
五七	大山 安君	九五	結城 安次君	一三三	深川榮左門君	一七一	大隈 信幸君	二〇九	岩間 正男君
五八	奥むめお君	九六	和田 博雄君	一三四	星 一君	一七二	門屋 盛一君	二一〇	太田 敏兄君
五九	岡部 常君	九七	渡邊 甚吉君	一三五	仲子 隆君	一七三	平野善治郎君	二一一	鈴木 清一君
六〇	岡本 愛祐君	九八		一三六	中川 幸平君	一七四	鈴木 順一君	二一二	水橋 藤作君
六一	岡元 義人君	九九		一三七	重宗 雄三君	一七五	天田 勝正君	二二三	千葉 信君
六二	尾崎 行輝君	一〇〇		一三八	西山 龜七君	一七六	島田 千壽君	二二四	木村福八郎君
六三	木下 辰雄君	一〇一		一三九	橋本萬右衛門君	一七七	金子 洋文君	二二五	堀 眞翠君
六四	九鬼紋十郎君	一〇二		一四〇	伊東 隆治君	一七八	藤枝 昭信君	二二六	梅津 錦一君
六五	楠見 義男君	一〇三		一四一	佐々木鹿藏君	一七九	栗橋 越夫君	二二七	原口忠次郎君
六六	大屋 晋三君	一〇四		一四二	境野 清雄君	一八〇	奥 主一郎君	二二八	中村 正雄君
六七	山田 佐一君	一〇五		一四三	淺井 一郎君	一八一	池田七郎兵衛君	二二九	池田 恒雄君
六八	中山 壽彦君	一〇六		一四四	廣瀨與兵衛君	一八二	岩本 哲夫君	二三〇	星野 若樹君

二五一	丹羽 五郎君
二五二	塚本 重藏君
二五三	椎井 康雄君
二五四	齋 武雄君
二五五	村尾 重雄君
二五六	千田 正君
二五七	兼岩 傳一君
二五八	藤田 芳雄君
二五九	羽仁 五郎君
二六〇	山田 節男君
二六一	渡多野 鼎君
二六二	岡田 宗司君
二六三	若木 勝藏君
二六四	國井 淳一君
二六五	栗山 良夫君
二六六	川上 嘉君
二六七	西園寺公一君
二六八	吉川末次郎君
二六九	藤井 新一君
二七〇	羽生 三七君
二七一	田中 利勝君
二七二	三好 始君
二七三	米倉 龍也君
二七四	佐々木良作君
二七五	松本治一郎君
二七六	三木 治朗君
二七七	木下 源吾君
二七八	森下 政一君
二七九	青山 正一君
二八〇	駒井 藤平君
二八一	小川 久義君
二八二	岩男 仁藏君
二八三	鈴木 憲一君
二八四	岡村文四郎君

定價 一部 四円五十銭
送料実費

發行所

東京都新宿区市ヶ谷本村町
印刷局
電話九段五三〇一
振替東京一九〇〇一
郵便課